

		1病日	8病日	15病日	21病日	
休薬完了 文書作成	休薬完了 文書	休薬完了21日目 内 246 非小細胞肺癌 CBDCA+nab-PTX+Atezo がん化学・免疫療法の副作用についての説明書 同意書			休薬完了	
注射	抗がん剤	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 100mL 1瓶 パノセトロン静注0.75mg 5mL 1瓶 デキサメタゾン注射液3.3mg 1mL 1A 1日1回 点滴速度 212ml/h 注入時間 30分 ① ↓ ↓ ↓ ★バル輸液セット使用★ ★アプレピタント(125mg)内服確認	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ グラニセトロン点滴静注バッグ3mg/100mL 1袋 デキサメタゾン注射液3.3mg 1mL 2A 1日1回 点滴速度 204ml/h 注入時間 30分 ①	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ グラニセトロン点滴静注バッグ3mg/100mL 1袋 デキサメタゾン注射液3.3mg 1mL 2A 1日1回 点滴速度 204ml/h 注入時間 30分 ①		
		実施確認：未 点滴末梢メイン側管1 大塚生食注 50mL 1瓶 1日1回 ★フィルター使用禁止★ ★7A7シ製剤 投与中は止めておく★ ★1日後でnab-n ¹ が併投与に使用★ ②	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 100mL 100mL nab-バクシタキセル点滴静注用 100mg/g/㎡ 1日1回 注入時間 30分 ★全量()mL★ ★7A7シ製剤 泡立ちやすいので注意★ ② 1V 20mlで溶解・・・5mg/ml 生食空容器に充填すること	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 100mL 100mL nab-バクシタキセル点滴静注用 100mg/g/㎡ 1日1回 注入時間 30分 ★全量()mL★ ★7A7シ製剤 泡立ちやすいので注意★ ② 1V 20mlで溶解・・・5mg/ml 生食空容器に充填すること		
		実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 250mL 1袋 アテゾリズマブ点滴静注 1200mg 1日1回 注入時間 1時間 ★バル輸液セット使用★ ★前回、異常なければ30分に短縮可 ③	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 50mL 1瓶 1日1回 点滴速度 500ml/h 注入時間 6分 ③	実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 50mL 1瓶 1日1回 点滴速度 500ml/h 注入時間 6分 ③		
		実施確認：未 持続末梢MVO TM ノブ 大塚生食注 100mL 1瓶 1日1回 注入時間 30分 ★バル輸液セット使用★ ④				
		実施確認：未 点滴末梢メイン側管1 大塚生食注 100mL 100mL nab-バクシタキセル点滴静注用 100mg/g/㎡ 1日1回 注入時間 30分 ★フィルター使用禁止★全量()mL★ ★7A7シ製剤 泡立ちやすいので注意★ ⑤ 1V 20mlで溶解・・・5mg/ml 生食空容器に充填すること				
		実施確認：未 点滴末梢メイン側管1 大塚生食注 250mL 1袋 カルボプラチン点滴静注液 AUC=6 1日1回 注入時間 1時間 ⑥				
		実施確認：未 点滴末梢メイン側管1 大塚生食注 50mL 1瓶 1日1回 点滴速度 500ml/h 注入時間 6分 ★副管終了フラッシュ★ ⑦				
一般注射						
処方	処方	アプレピタントカプセルセット 1tvt 1日1回、1錠 1日目、125mgを使用 2日目以降、80mgを午前中に服用				

- 副作用への対応
- 悪心嘔吐、食欲不振 …… 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
 - 便秘 …… 便が出にくくなることもあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は早めに使用する。
 - 下痢 …… 便がゆるくなることもあるので、排便回数や便の性状を記録する。
 - 口内炎 …… 予防のために食後の歯磨き、頻回のうがいをします。
 - 好中球減少 …… 感染症予防のために外出だけでなく自宅で過ごす時も手洗いうがいを頻回に行う。
 - 脱毛 …… 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。
 - 末梢神経障害 …… 治療を繰り返すことによって手足がしびれることがある。(nab-バクシタキセル)
 - 関節痛・筋肉痛 …… 点滴後、関節痛や筋肉痛を感じることもある。痛みが強い場合は鎮痛剤を使うこともある。(nab-バクシタキセル)
 - アレルギー反応 …… 治療を繰り返すことによってアレルギー反応を起こすことがある。(カルボプラチン)
- 免疫チェックポイント阻害薬の有害事象への対応
- 間質性肺炎 …… 息切れ、息苦しさ、空咳、発熱の症状が現れた場合、速やかに病院に連絡する。
 - 大腸炎 …… 腹痛を伴う粘液便、血便が現れた場合、速やかに病院に連絡する。
 - 1型糖尿病 …… 口や喉が渇き、水分摂取が普段より多い、尿量が普段より多い場合は速やかに病院に連絡する。
 - 神経障害 …… 手足に力が入らない、食べ物が飲み込みにくい場合は速やかに病院に連絡する。
 - 皮膚障害 …… 体に発疹が出ることもあるが、ひどい口内炎、まぶたや眼の充血を伴う場合は速やかに病院に連絡する。
 - 内分泌障害 …… 倦怠感が発現することがある。